

《週報》

第11巻第2号

第2週(1月10日~1月16日)

発行年月日:平成23年(2011年)1月19日
発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター[†]
電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

感染性胃腸炎の警報解除
インフルエンザは増加傾向

一類~五類全数報告感染症の発生状況(第2週)

- ・一類感染症---- 報告はありません
- ・二類感染症---- **結核 5名**(平成22年分 1名を含む)
- ・三類感染症---- 報告はありません
- ・四類感染症---- 報告はありません
- ・五類感染症---- **ウイルス性肝炎 1名**(病型:B型)

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

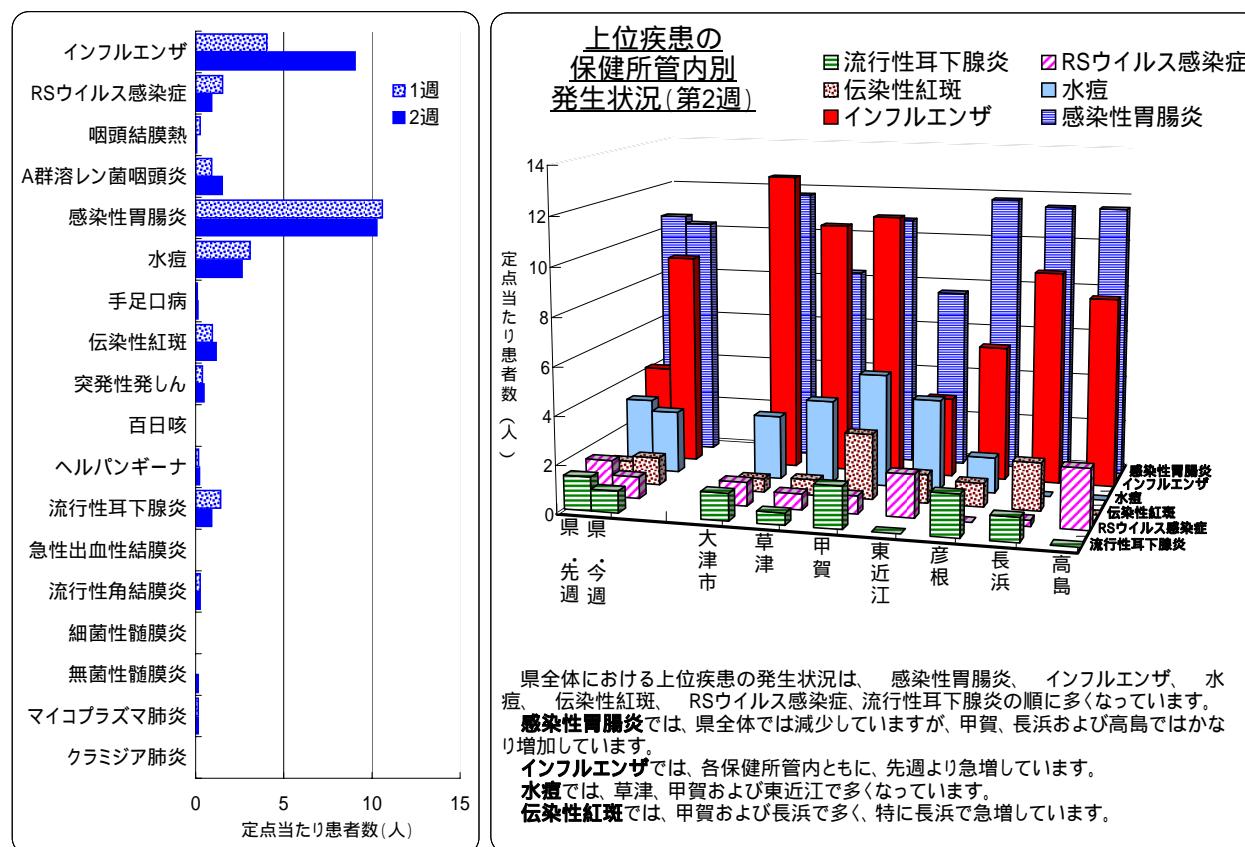
下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(836名)より大幅に増加し、今週は1,067名となっています。特に、先週に引き続きインフルエンザで急増し、先週の約2.3倍増となっています。今週、増加した疾患は、インフルエンザ、A群溶連菌咽頭炎、伝染性紅斑(リンゴ病)等で、減少した疾患は、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、感染性胃腸炎については、平成22年第51週(12/20~12/26)に県内全域に警報が発令されていましたが、平成22年第52週以降、定点当たり患者数は連続して減少していました。「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、**平成23年第2週(1/10~1/16)に、警報の解除基準(*)に該当したため解除されました。**

解除基準:感染性胃腸炎の警報終息基準値(定点当たり患者数 12.00)を超える全ての保健所管内人口の合計が、県人口全体の30%未満になった時点で解除します。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報ならびに注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警報----伝染性紅斑(警報開始基準値 2.00、警報終息基準値 1.00) 甲賀および彦根保健所管内
注意報----インフルエンザ(注意報発生基準値 10.00)
水痘(注意報発生基準値 4.00) 大津市、草津および甲賀保健所管内
甲賀保健所管内



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出することになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成23年累積報告数		平成22年累積報告数 ^(*)		平成21年累積報告数 ^(*)	
		滋賀 (2週) ⁽³⁾	全国 (1週注) ^(*)	滋賀	全国 (*) ⁽³⁾	滋賀	全国 (*) ⁽³⁾
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	12	226	252 ^{**}	26,078	256	26,932
三類感染症	コレラ	0	0	0	11	1	16
	細菌性赤痢	0	1	2	232	0	180
	腸管出血性大腸菌感染症	0	10	66	4,110	27	3,886
	パラチフス	0	1	1	21	0	27
四類感染症	E型肝炎	0	0	0	66	1	56
	A型肝炎	0	2	3	342	0	115
	オウム病	0	0	1	11	0	21
	つつが虫病	0	11	2	396	0	465
	デング熱	0	1	2	243	0	93
	マラリア	0	1	0	75	0	56
	レジオネラ症	1	7	10	726	8	712
五類感染症	アメーバ赤痢	0	4	7	831	10	783
	ウイルス性肝炎	1	2	3	220	3	220
	急性脳炎	0	3	1	234	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	2	167	2	141
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	3	124	2	105
	後天性免疫不全症候群	0	7	1	1,513	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	1	79	0	73
	梅毒	0	4	8	610	3	692
	破傷風	1	1	0	104	3	113
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	2	119	0	116
	風しん	0	1	5	89	2	148
	麻しん	0	6	1	457	7	739
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(*)	0	0	0	138	12,639	

** : 2週に、平成22年第46週分 1件の追加報告がありましたので、251～252に訂正しました。

注: 2週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

* 1: 感染症発生動向調査暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年第52週現在)。

* 2: 感染症発生動向調査年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年3月)。

* 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

* 4: 感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間: 平成21年7月24日～8月24日)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)

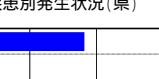
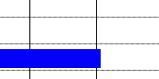
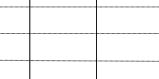
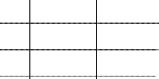
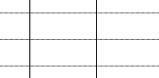
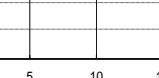
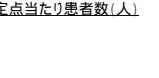
(1) 疾病別・週別発生状況(平成22年第49週～平成23年第2週、H22.12.6～H23.1.16)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
			49週	50週	51週	52週	1週	2週	週				
			12/6～	12/13～	12/20～	12/27～	1/3～	1/10～	50	51	52	1	2
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.09	0.21	0.49	1.53	4.04	9.04					
小児科	32	RSウイルス感染症	2.91	3.63	2.97	1.63	1.53	0.91					
		咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.16	0.25	0.09	0.13	0.25	0.06					
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.25	1.78	1.44	0.47	0.91	1.50					
		感染性胃腸炎	14.59	17.88	19.31	12.41	10.59	10.28					
		水痘	2.06	3.50	1.97	2.41	3.09	2.63					
		手足口病	0.97	0.81	0.22	0.03	0.09	0.13					
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.78	0.78	0.63	0.53	0.94	1.16					
		突発性発しん	0.88	0.47	0.59	0.41	0.38	0.47					
		百日咳	0	0.06	0	0.03	0	0					
		ヘルパンギーナ	0	0	0.06	0	0.16	0.22					
眼科	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.75	1.16	0.53	0.59	1.41	0.91					
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
		流行性角結膜炎	0.63	0.50	0.75	0.25	0.25	0.25					
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.14					
		マイコプラズマ肺炎	0.71	1.00	0.14	0.29	0.14	0.14					
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0.14	0	0	0	0					

各疾患における6週間の発生状況

増加傾向……インフルエンザ
減少傾向……RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第2週、1/10~1/16)

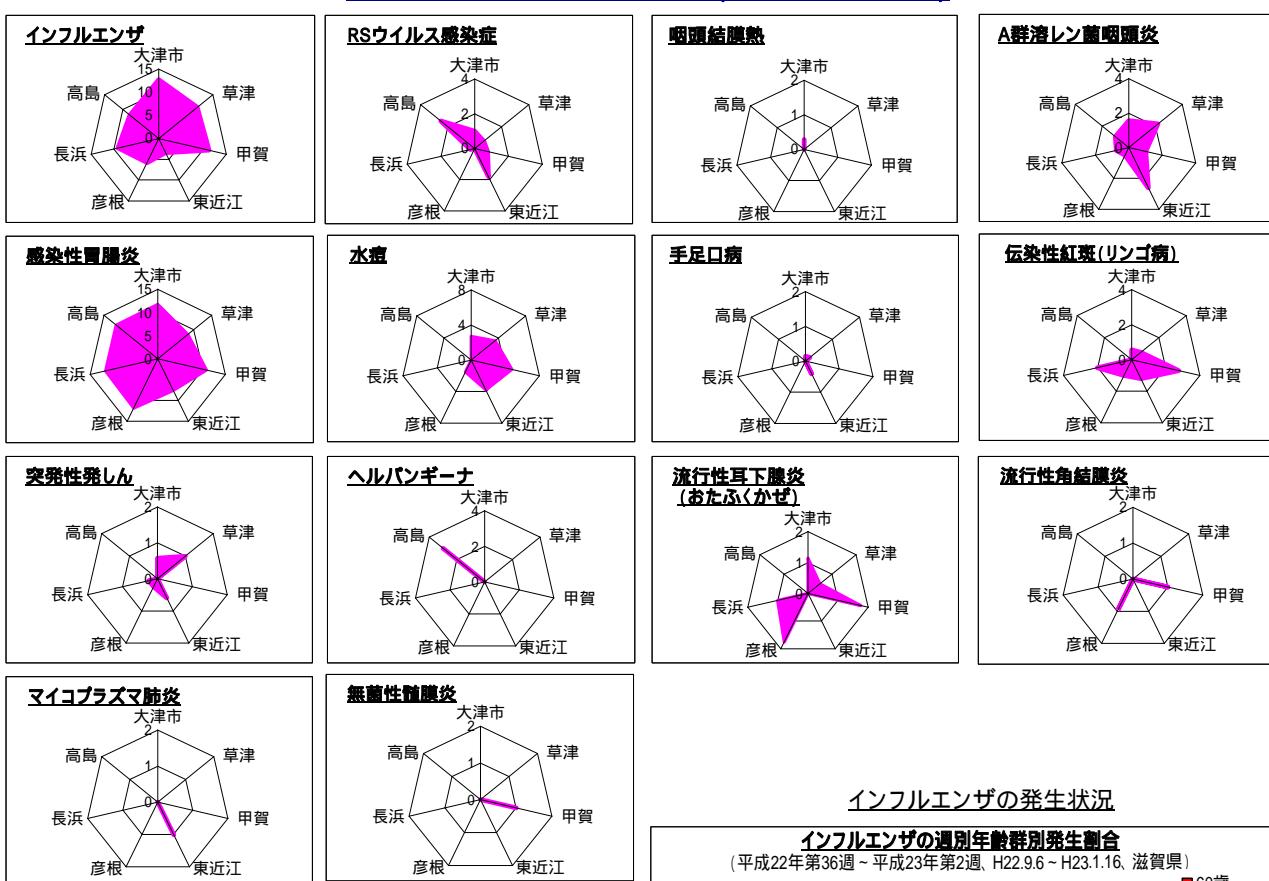
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	9.04	12.73	10.70	11.14	3.38	5.71	9.00	8.00	
RSウイルス感染症	0.91	1.00	0.67	0.75	1.80	0	0.25	2.50	
咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	1.57	2.17	1.00	2.60	0.50	0.75	1.00	
感染性胃腸炎	10.28	11.71	8.33	10.75	7.60	11.75	11.50	11.50	
水痘	2.63	2.71	3.50	4.75	3.80	1.50	0	0	
手足口病	0.13	0.14	0.17	0	0.40	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	1.16	0.57	0.67	2.75	1.20	1.00	2.00	0	
突発性発しん	0.47	0.57	1.00	0	0.60	0.25	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.22	0	0	0	0	0	0	3.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.91	1.14	0.50	1.75	0	1.75	1.00	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0	0	1.00	0	1.00	0	0	
細菌性髓膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髓膜炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字は警報発生基準値を超えています。

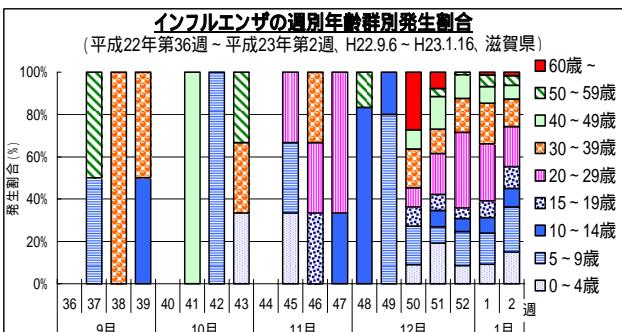
青緑・太字は注意報発生基準値を超えています。

0 5 10 15
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



インフルエンザの発生状況



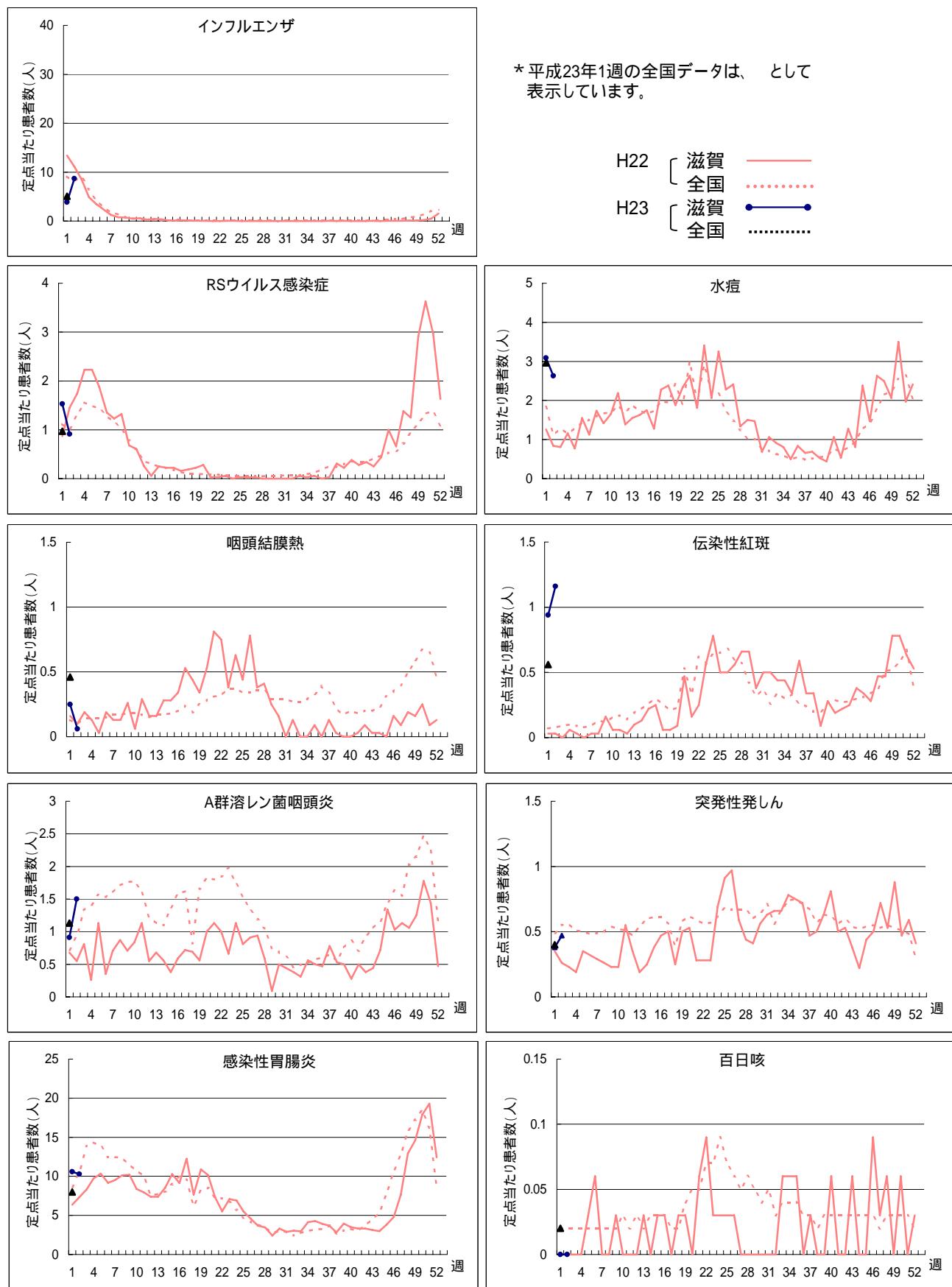
(3)今週の発生状況

インフルエンザ-----大津市、草津および甲賀保健所管内で多くなっています。県全体の年齢群別発生割合では、先週同様、20～29歳および30～39歳で多くなっています。

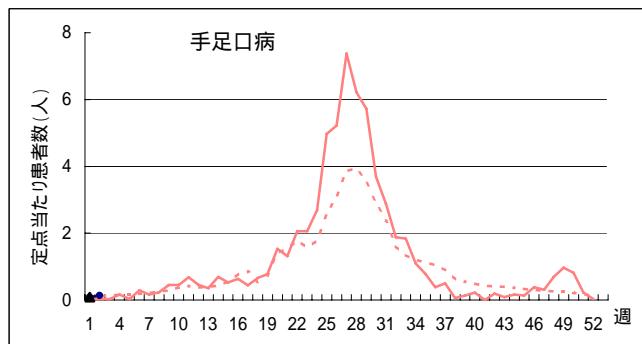
RSウイルス感染症-----大津市および草津保健所管内では、先週より大幅に減少しています。また、東近江および高島保健所管内でやや多くなっています。

A群溶レソ球菌咽頭炎-----県全体では、先週のほぼ倍増となっています。特に、東近江保健所管内で急増し、先週の約3倍増となっています。

疾病別定点当たり患者数(平成23年第2週、H23.1.10～H23.1.16)



疾病別定点当たり患者数(平成23年第2週、H23.1.10～H23.1.16)



* 平成23年1週の全国データは、として表示しています。

H22 滋賀
H23 滋賀
全国 全国

